

REDD+最新動向 COP24と 緑の気候基金 (GCF)

林野庁計画課国際森林減少対策調整官

中野 彰子

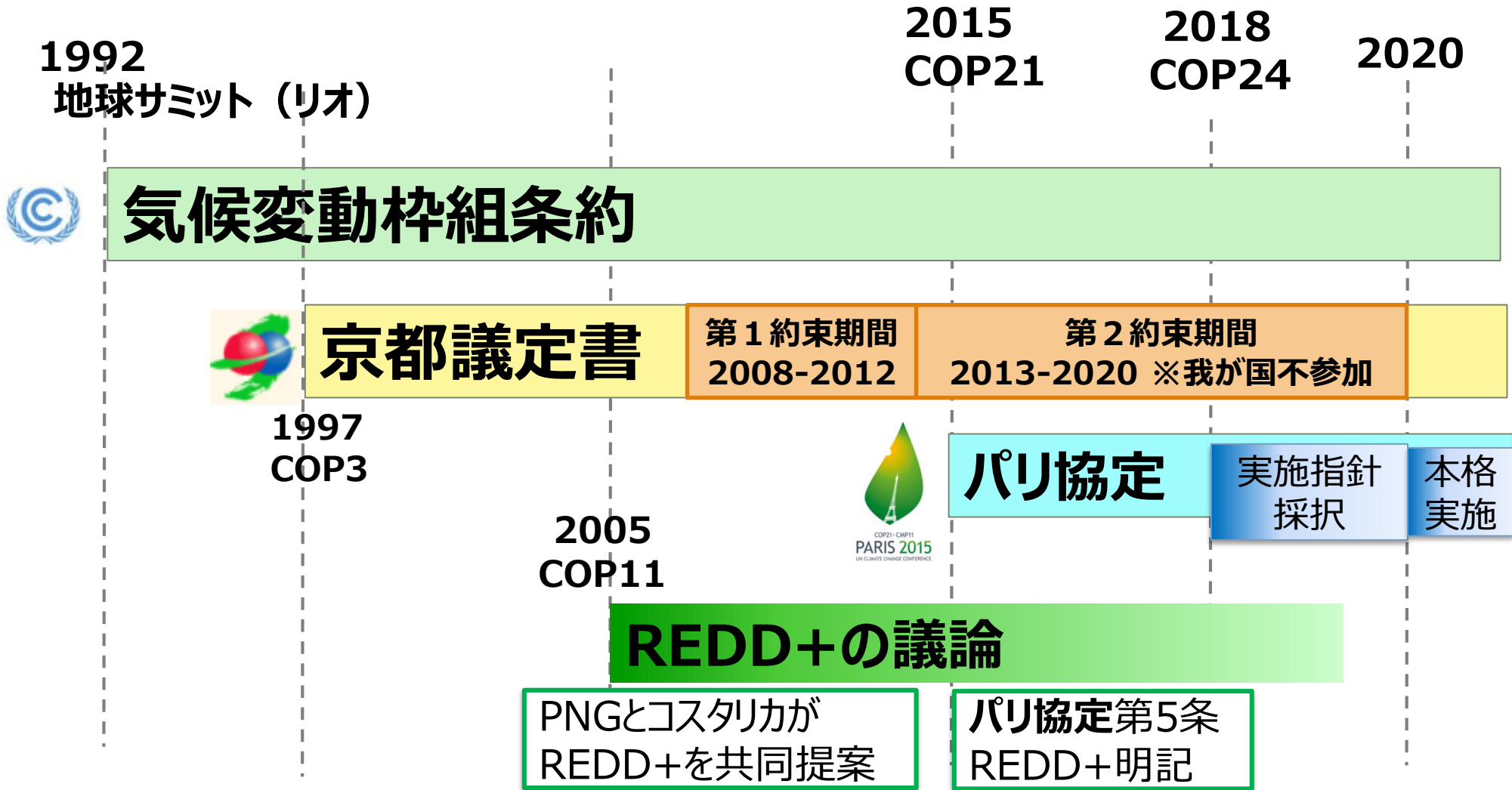
2019年1月18日

目次

- COP24におけるREDD + 関連事項
- 緑の気候基金（GCF）での議論の動向

COP24 におけるREDD+関連事項

気候変動条約とREDD+の系譜



REDD+の基本コンセプト

● REDD+とは

途上国の森林減少・劣化に由来する排出の削減等

Reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries

● REDD+の流れ：段階的アプローチ

フェーズ1: 準備

Readiness

フェーズ2: 実施

Implementation

フェーズ3: 成果支払い

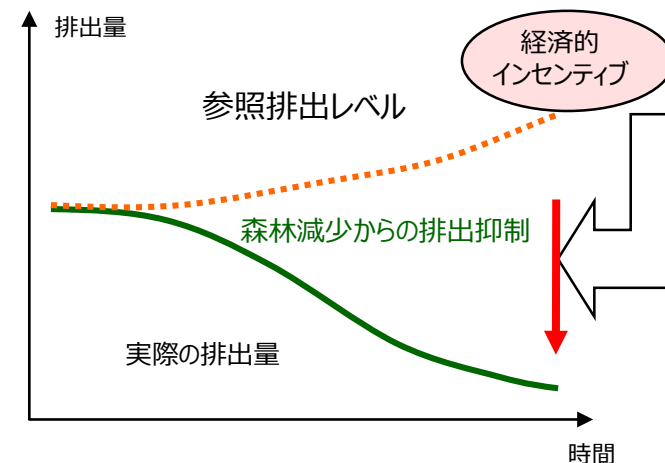
Results-based Payments

● REDD+プラスのコンセプト

排出削減量に基づき成果支払い（資金やクレジット）を実施する経済的インセンティブ

● REDD+準備活動の内容

- ① REDD+国家戦略（NRS）、
- ② 国家森林参照レベル（FREL）、
- ③ 国家森林モニタリングシステム（NFMS）、
- ④ セーフガード（ガバナンス、社会、環境及び気候）
情報提供システム（SIS）



REDD+の議論の変遷

発案

2005

途上国の森林減少・劣化に由来する排出削減等
パプア・ニューギニアとコスタリカ提案

2006

スターン・レビュー
気候変動の経済学
森林減少抑制の費用対効果を評価

概念の合意

2010

カンクン合意

REDD+の活動、途上国が整備すべき要素
を明記

2007

IPCC 第4次評価報告書
森林減少抑制の削減ポテンシャルの
大きさを指摘

技術指針決定

2013

ワルシャワ枠組

技術指針、資金や支援の調整のあり方を採択。

条文に規定

2015

パリ協定

第5条第2項：REDD+の実施・支援を奨励。

REDD+に関する議題の終了

REDD+に関連する組織の設立

設立すべし
【途上国】

2013 COP19

REDD+実施支援のための自主的会合の実施を決定

不要じゃないか
【先進国】

2014 COP20 第1回自主的会合
2015 SB42 ボン会合 第2回開催
2016 SB44 ボン会合 第3回開催
2017 SB46 ボン会合 第4回開催

2017 COP23

“非国家主体による緩和成果を計上、報告、検証するためのゲートウェイ”設立の提案

2018 SB48 ボン会合

REDD+支援の調整の議論終了に合意。

2018 COP24

REDD+支援の調整の議論は
終了する。



※【自主的会合】については特に決定されず。

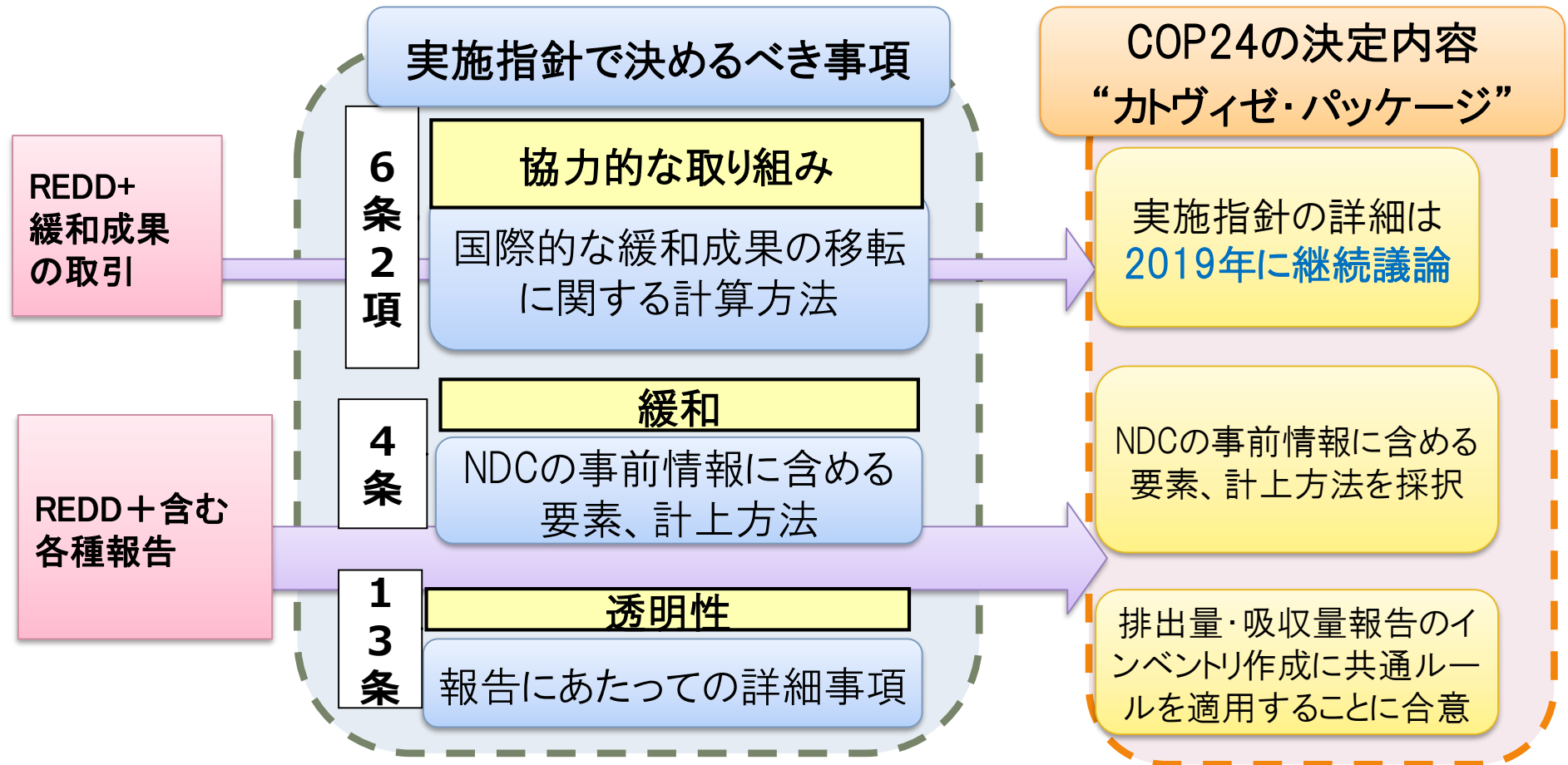


いよいよ実施の段階へ...

COP 24 のパリ協定実施指針とREDD+

パリ協定 第5条：吸収源（森林等）

第2項：REDD+の実施支援を奨励。



6条の交渉対立のポイント

○二重計上の防止 我が国含む大多数が賛成 ⇔ 少数国が反対

COP24イベント：REDD+関係その1

サイドイベント：“劣化した熱帯林の再生”

炭素、生物多様性とコミュニティのレジリエンスの調和を考える



日時

12月13日 13:15-14:30

会場

サイドイベント会場

主催

(国研) 森林研究・整備機構
森林総合研究所、
国際熱帯木材機関 (ITTO)

開催概要

劣化した熱帯林ランドスケープの再生を促進する最新の活動に焦点を当て議論を深めた。

“生態系に配慮したアプローチによるREDD+の実施”



日時 12月13日 13:15-14:30

会場 ジャパンパビリオン

主催 (国研) 森林研究・整備機構
森林総合研究所



開催概要

生態系に配慮したアプローチに期待される効果に焦点を当て、地域の複雑な環境に対応したREDDプラスや土地利用の計画立案方法について議論を深めた。

REDDに関連した動き

12月11日 熱帯雨林連合がサイドイベントを主催。
「Catalyc Fund」立ち上げを宣言



Fundについての資金規模等は
まだ検討段階。実際の資金拠
出がどうなるか今後の動きが
気になるところ。

REDD+ Catalytic Fund
“REDD+ Registries & Trading
Platforms” サイドイベントの様子

主催	熱帯雨林諸国連合（CfRN）
パネル出席	コンゴ（民）環境持続可能な開発大臣、ベリーズ農林水産大臣ほか
概要	REDD+の推進のために不可欠である民間資金の導入促進を目的として、Catalytic Fundの設立が宣言された。多くのREDD+プロジェクトを実施する国として、コンゴ（民）環境持続可能な開発大臣が歓迎の挨拶を実施した。

COP24イベント：UN-REDDが10周年記念イベント

**12月10日夜：
UN-REDD、UNDP、森林炭素パートナーシップ基金（FCPF）主催
10周年記念レセプション実施。**

UN-REDD
PROGRAMME

10
CIF
CLIMATE
INVESTMENT
FUNDS

FOREST
CARBON
PARTNERSHIP
FUND

10-year
REDD+
anniversary
reception



UN-REDD
PROGRAMME

COP24 UN side event on SDG 15

Forests first – from
10 years REDD+ to the
full scope of nature-based
climate solutions



**12月11日：UN-REDD主催
サイドイベント「Forest First」実施**

緑の気候基金（GCF）での議論の動向

REDD+ 支援に関する国際資金のイメージ

Green Climate Fund

緑の気候基金(GCF)はREDD+全フェーズを支援

UN-REDD Programme
(国連系)

Bio-carbon Fund (世銀)

FCPF Readiness Fund (世銀)

FCPF Carbon Fund (世銀)

Central Africa Forest Initiative
(ノルウェーほか)

Amazon Fund
(ノルウェーほか)

Forest Investment Programme
(世銀)

GEF SFM

フェーズ1:
Readiness

フェーズ2:
Implementation

フェーズ3: Results-based
Payments

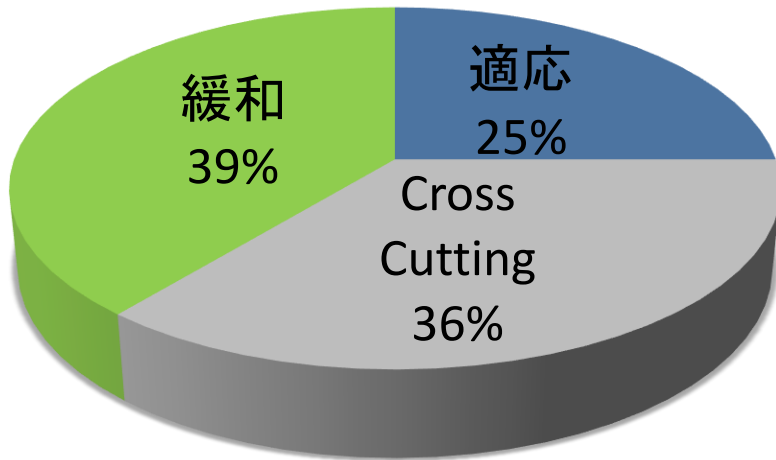
緑の気候基金（GCF）の概要



- 設立：気候変動枠組条約（UNFCCC）COP16で設立決定。
- 目的：途上国による温室効果ガス削減（緩和）と気候変動の影響への対処（適応）の支援。
- 意思決定：毎年2～3回開催されるGCF理事会。
- 理事会構成：先進国と途上国から各12名の合計24名。

資金拠出の基本理念：長期的に見て、緩和と適応に半分ずつ。地域バランスにも配慮。

資金拠出の割合



優先分野

緩和（温室効果ガス削減）

発電、エネルギーアクセス向上（再エネ）
交通
建物、都市、産業、家電（省エネ）
森林・土地利用

適応（気候強靱性の強化）

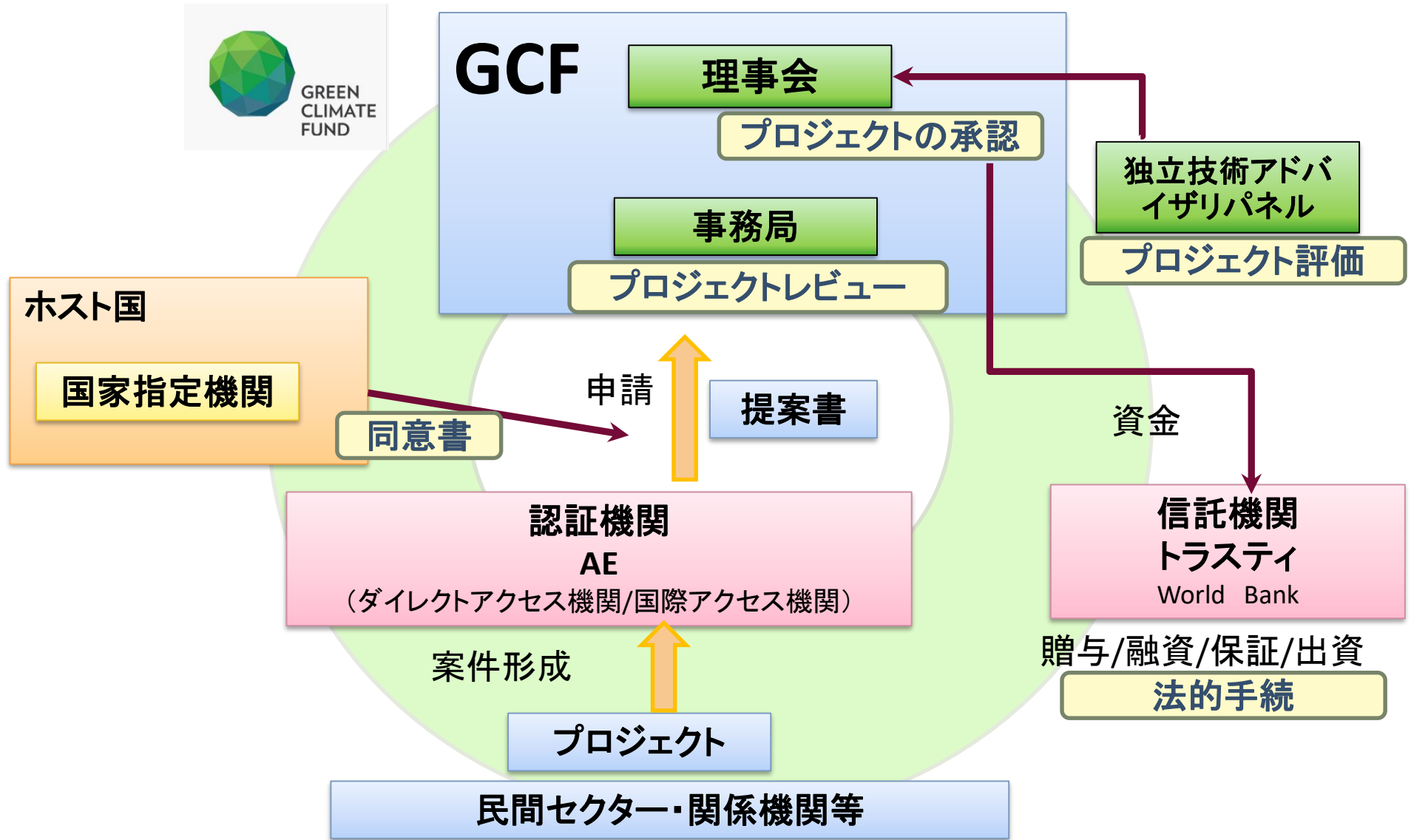
生態系・生態系サービス
インフラ・建築環境
健康・食糧・水の安全
住民・コミュニティの生計向上



GCF事務局：韓国仁川市

出典：GCF Websiteを元に作成（2019年1月7日時点）

GCFの案件採択のイメージ



GCFにおけるREDD+関連議論の経緯

2016年

10月 第14回理事会 成果支払いを含む**全フェーズへのREDD+支援を決定。**

12月 第15回理事会 REDD+担当理事（カナダ、DRC）の任命

2017年

4月 第16回理事会 REDD+専門家ワークショップ開催

7月 第17回理事会 初期フェーズのREDD+支援のあり方を検討

RPF等既存のGCFプログラムの積極的活用を奨励

10月 第18回理事会 **成果支払いのパイロットプログラム（5億ドル）を決定**

2018年

6月 第20回理事会 レギュラープログラムにおけるREDD+関連提案のアイデア説明

→第21回理事会への提案提起はなし。第22回理事会へ？

- アジェンダ合意が難航しプロジェクト採択ゼロ。
- 事務局長が突如辞任。

直近のGCF第21回理事会

ポイント1 新規プロジェクトを19件採択

新規プロジェクトを19件(約11億ドル)採択
※1理事会における案件採択額としては過去最高額



ポイント2 増資交渉の開始に合意

増資開始トリガー(初期資金(約102億ドル)に対し事業承認額が60%を超える)を超えるとして、増資交渉開始に合意。



ポイント3 信託機関を世銀に決定

ポイント4 新事務局長選出プロセス

2019年の動き

GCF

2月 第22回理事会

- 新事務局長の選出
- 新理事メンバー最初の理事会
- REDD関連プロジェクト提案？

4月 第1回増資協議

7月 第23回理事会

8月 第2回増資協議

10月 第24回理事会

REDD支援プロジェクト
は引き続き提案される
可能性あり

UNFCCC

6月 SB50 ボン会合

- パリ協定実施指針の積み
残し議論
- 市場メカニズム(第6条)の
ルールも技術的論点から具
体的な再交渉

REDD含む市メカ議
論大詰め

2019年末 UNFCCC COP25 @チリ



2020年以降のパリ協定本格実施に向けた最終準備の2019年。REDD+の成果を出すためにも、GCF等からのプロジェクト支援が一層重要となってくる。

ご清聴ありがとうございました。